

舟入高校在校生の皆さんへ

令和2年3月11日
舟入高校 進路指導部

3月に入り突然の休校になり、どのように過ごしているでしょうか。規則正しい生活を送れているでしょうか。時間を上手に使えているでしょうか？

春休みの課題等はきちんとやっていることだとは思いますが、いつも言うように複数回の取り組みが大切です。課題だけではなく自分の弱点補強などの学習が必要です。このようなときにこそ自分を律して、舟入高校生らしい生活を送ってもらいたいものです。

3月も中旬となり、多くの3年生(卒業生)の先輩方が受験した国公立試験の前期試験の結果がほぼ出そろいました。こちらについても舟入高校のホームページに掲載していますので確認してください。このたび、合格した先輩方から皆さんにメッセージをいただきました。本来は3月19日の終業式後に、例年のようにアカシヤホールで皆さんに向かって話してもらいたかった(後輩の皆さんに向けてぜひ話したかった、という先輩もいらっしゃいました)のですが、それもかなわないので、今回は舟入高校のホームページに舟入高校生専用サイトができましたので、**令和2年度入試 受験体験記**として一部を掲載します。

皆さんの学習の参考になる部分も多いと思います。どうかじっくりと読み、先輩方の思いを受け取ってください。うまくいった部分だけでなく、失敗からも多くのことを学んで下さい。

2年生については、何度も言ってきましたが、入試制度が変わる初年度です。ここでスタートダッシュが切れるかどうか、一年後に向けての皆さんの力が早くも試されています。

1年生については、大学受験はまだまだ先のことだと思わずに今のうちからできること、やっておくべきことを自分で見つけて下さい。

それでは、次回の登校日で皆さんに会えることを楽しみにしています。

令和2年度入試 受験体験記

- ①後輩へのアドバイス
- ②受験勉強を終えて思うこと
- ③第一志望校の決定時期とその経緯、それに向けた計画の立て方、反省点など
- ④部活動等との両立における工夫(気持ちの切り替え、時間の使い方など)
- ⑤受験を振り返って(各教科の学習法、おすすめ参考書など)

<<文系>>

京都大学 文学部 人文学科 前期合格

- ①(授業や学校の小テストをおろそかにしないこと)

授業の中で国語・英語はほぼ100%理解するようにしていた。そうすることで夜の自習時間は苦手科目の復習に充てることができた。また、小テストで毎回満点を目指して対策していたため、3年になったとき焦ることがなくなった。

(志望校を貫き通すこと)

自分はセンター試験の数学で大コケして、センターの判定はE判定であった。けれども、元々記述のほうが得意だったのと、あとは意地で第一志望を貫き通した。すると本番で苦手になっていた数学が人生で一番できた。奇跡は起こる。

(メッセージ)

受験勉強をしていると辛い時が必ず来る。そういう時、陳腐な台詞ではあるが、どれだけ自分を信じられるかが鍵となると思う。最後に笑うのは、当たり前のことを、当たり前ではない質そして回数とともに、ひたすらに意味のあることだと信じてこなし続けた人間だと思う。

- ②ずっと一緒に勉強を頑張ってきた人、「あなたが後悔しないように納得するまでやりなさい」と背中を押してくれた両親、支え続けてくれた祖父母、そして、センター試験後に京都大学を受けることすら諦めようとしていた自分の背中を押してくれた先生方。この大切な人たちの支えがなければ、合格することはできなかったと思う。感謝の気持ちは必ず言葉にして伝えるようにしてきた。

- ③時期：2年生の冬

理由：どうせ目指すなら日本最高峰の大学を目指そうと思った。自分は頭の回転は速くないが、腰を据えてじっくりと考えることは得意だと思えたため、京都大学に決定した。

(あとお寺巡りがしたかった)

- ④ESS部 大会前以外は部活がある日も毎日決まった時間帯に勉強していた。でもメリハリは大切だと思う。

- ⑤【英語】

最も得意な教科のひとつだったので、早くから大学の過去問を解いていた。そうすることによって長い時間をかけて足りない部分を補っていった。また、いくら得意とはいえやらなければ感覚を忘れて

しまうため、毎日見開き5ページVintageをやっていた。ターゲットは3年になる前に全部覚えた。

【数学】

最も苦手な教科だったため、最も時間を割いていた。夏ごろまで基礎固めにひたすらチャートをし、授業(キートレ)の予習は毎日手を抜かずにやった。それから2年の終わり頃、弱点を洗い出したときにケアレスミスが目立ったため、小学生がやる分数の四則演算を毎日1問、その日から受験本番まで毎日やり続けた。

神戸大学 国際人間学部 グローバル文化学科 前期合格

①・部活動を悔いなくやり切ることが大事。

・誰かと競い合うことが大事。

私はクラスの京大阪大の志望の友達と3人で毎回模試の結果を見せ合っていました。私は記述こそ2人に負けることも多かったけど模試の数学とマーク模試が強かったのでいい感じに競い合えました。また、ライバルは舟入生だけでなく全国の人もなので、Study Plusで同じ志望の人や上のランクの京大阪大の人の頑張りも見ながらやっていました。よく成績を誰にも言わず自己内解決する人がいますが、結果論、他の受験者に勝たないといくら自己ベストを出しても受からないので他の人と成績や勉強時間を共有していくのが大事だと思います。(ただ、クラスで大声で自分の良い成績を悪かったとか言うのはやめたほうがいいです(笑))また模試の成績は良い時は調子に乗らず悪い時は全力で気にするのは大切。

・先生に話を聞いてもらう!私は大好きな先生に廊下で会うだけでテンションが上がってやる気が出ました(笑)

・SNSを止めなくてもいい。私はInstagramを1日1時間半見る生活をしていましたが、アカウントを作り直し本当に見たい人だけをフォローし、1日10分ほどに抑えました。見すぎは駄目だけど、適度なら問題ないと思います。

・早寝早起き!5時半起床、6時半から電車で勉強、7時学校着、午後も7時まで学校、11時半就寝。

・友達とだらけない!

・すきま時間を使う!私は友達と2人で日本史昼補習がない日はテラスで昼を食べて15分ぐらい勉強していました。

②色々な先生に助けていただきました。担任の先生は体育と言うこともあつてか、私が11月の試合を目指しても止めずに応援してくださいました。進路の先生は様々な資料を提示していただき、教科担でも何でもなくても相談に乗っていただきました。数学では1年中質問や進路相談に応じてもらいました。添削の先生にも教えてもらいました。国語と英語は先生に頼み込んで添削してもらいました。特に国語は添削をしていただくうちに、少しずつでも変化していた気がします。日本史や英語の先生にも質問にたくさん答えていただきました。そして顧問の先生にはうまくいかない時は励ましていただいたり、志望校決めに相談に乗っていただいたりして本当に助けていただきました。お世話になった先生方全員に感謝でいっぱいです。

③初めはなんとなく神戸だったけど先輩が神戸に進学したのをきっかけに真面目に考えるようになりました。後期の出願校やセンター試験に失敗した場合にどうしようかという問題で多くの時間をと

られました。将来必要な資格や入試科目を早期に調べ、ギリギリに私学や大学調べ、不必要な対策に追われないようにするべきでした。

- ④1、2年生の時は朝練・午後練・土日試合、テスト週間でも雨でも修学旅行でも走らなければ体力は一瞬で落ちるから自主練をするしかないしというスケジュールで週20時間行けば良い方でした。ここでの反省点は、無駄な時間が多すぎたことです。引退してからは1年生の時に何をしていたかもはや思い出せません。3年生では中国総体はギリギリで逃し、全く切り替えられませんでした。そして朝練を11月まで続け、県高校駅伝に出させてもらいました。駅伝は楽しくて良い結果でも終われたし、ほんとに5ヶ月頑張った良かったです、勉強時間が1日40分削られたの日なのでやっぱり悔いなく全力でやり切ることが大切です。部活は勉強時間を奪ってしまうかもしれませんが、高校生活の9割の思い出は部活でした。先輩や後輩もたくさん応援してくれたし、引退してからもたまに部活のメンバーと話すのはとても楽しかったです。部活動通して生活習慣や礼儀はもちろん、忍耐力や何かを頑張る力がつくのでそれが勉強に生かされると思います。

⑤【英語】

「やっておけばよかったこと」

ターゲット1~15は2年生までに完璧に。英熟語も怠らず黒字の意味の方が出たりします。(例えば authority。) ヴィンテージはテスト前も小テスト前もサボりすぎて痛い目にあいました。その結果、夏休みにヴィンテージのイディオム以外を三周する羽目になりました。鉄壁をやっている人も多かったです。3年生の夏ごろから緑の参考書もやりましたが、あれに出る単語や構文は全て覚えておくべきだったと思います。

「やってよかったこと」

ターゲットだけでは100%足りないと思います。私は準一のパス単を2月に始めて、BとCをパス単ばかりやって覚えました。特にBがよく出ました。入試問題演習をするうちにパス単の単語が多く出ることに気づきました。上位の大学、特に国際系は準一の単語なんか覚えて当たり前の人が多いはずです。

【国語】

「やっておけばよかったこと」

古文単語を3年生になるまで全くやっていませんでした。これも学校のやつだけじゃ足りないと思います。学校のやつは赤シート以外の全ての部分や例文に出てくる語句は全て覚えるべきだと思います。源氏物語を現代語で読んでおくべきでした。

「やってよかったこと」

直前2週間で「ゴロゴ」を始めてどうにか覚えた

【数学】

「やっておけばよかったこと」

3年生になるまでにコンパス2から73までを完璧にしました。私は二次試験の3日前にベクトルや方程式が一切できないことに気づきました。応用は夏を超えてからセンター対策までの3ヶ月にやれば良いと思います。

【日本史】

「やっておけばよかったこと」

東進の一問一答は年明け1日位に始めたので、遅すぎたと思います

「やってよかったこと」

日本史の昼補習にはほぼ全て出ました。センター試験直前期にはマーク演習は大量にあるがその解説文と日本史補習の問題の答えもとにかく暗記しました。そうすると傾向がつかめるようになってきて予想が当たって満点を取ることができました

大阪大学 外国語学部 英語学科 前期合格

- ①教科ごとのバランスを考えて勉強することが大切だと思います。計画を立てずに勉強すると教科ごとのバランスが崩れて、大量失点する教科ができてしまうので、勉強計画をきちんと立てる時間を取って、自分のやらないといけないことを可視化することが大事だと感じました。それから朝早く学校に来て勉強するということだけは頑張り続けた自信があります。毎朝の積み重ねは本当に大事だったなと思います。
- ②自分で思っている以上に家族や友達といった周囲の方々の支えは大きいので、そのことに対する感謝は絶対に忘れないようにしたほうが良いと思いました。
- ③3年生の6月に志望校を決定しました。受験勉強を始めるよりも先に、自分の進路を考え直すことが大切だったと思います。志望校が決まらないと勉強にも身が入らないのもっと早く決めるべきでした。
- ④私は部活動を引退する4月まではほとんど勉強をしたことがなかったのですが、部活をしていた2年間1日もさぼらず朝練に行き続けたことが、朝学習の習慣につながったと思うので、部活と勉強は別と考えずに、部活も最後まで頑張り続けることが大切だと思います。
- ⑤【世界史】
「ヨコとタテのつながりで覚える世界史」
分かりやすい上に復習もしやすく、とてもおすすめです。
【英語】
「グリーン（基礎英文問題精講）」
英文を正しく把握する癖がついたと思います。

岡山大学 経済学部 経済学科 前期合格

- ①長いスパンでの目標（例：1年生が終わるまでに学年順位を○位まで上げる。単語を○個覚える。）を立てたことが、頑張れた一番の理由だった。
- ②勉強で上手くいく人は2パターンあると思う。
1つ目は「先が見えている人」で、大学で学びたいことや将来就きたい職業がはっきり決まっている人は、やらなければならない課題が明確になるので強い。
2つ目は「やるべきことをきちんとこなす人」で、ロッカーがきれい、学習計画表をきちんと作る、提出物をきちんと出す、などがしっかりできる人は学習にも力が注げる。
- ③もともとの第一志望は北海道大学だったが、センター試験での点が伸びなかった。親元を離れて学生生活を送りたかったため岡山大学に志望変更した。
- ④土日の部活後はヘトヘトになっていたので、課題は平日のうちにこなした。日々の移動時間を活用して単語の学習をした。
- ⑤【英語】
一度、難しい長文を全訳してみると良い。文法構造を細かくチェックできて文法の理解が進むとともに、単語の意味の推測力や英作文の力もつく。

広島大学 法学部 法学科 前期合格

- ①放課後は、学校で下校時間の19時まで勉強し、その後は塾の自習室に行って閉館まで勉強するというルーティーンをつくっていたのが良かった。家で集中できない分、学校と塾の自習室をうまく活用できたと思う。前期試験が終わってから後期試験に向けて勉強するのは想像以上にしんどかったが、友達と学校で一緒に勉強することを約束していると頑張れた。
- ②頑張る友達が近くにいることは励みになった。
- ③センター試験がうまくいかず志望校を変更した。センター試験がダメだったときの対処について、もっとしっかり考えておくべきだった。
- ④引退が早い部活動だったので両立はしやすかった。
- ⑤【世界史】
資料集をよく見ていた。コラムなどで面白い内容があると、その人物や出来事を記憶に定着しやすくなった。先生の語呂合わせ年表がすごく役に立った。特定の年号を正確に覚えていると、横のつながりが把握しやすい。
【政治・経済】
分厚い参考書ではなく、薄くて持ち運びがしやすい参考書を使った。細かいことが書いてある本よりも、重要なことだけが書かれている本に、自分で追加して書き込んでいくほうが頭に入った。

大阪市立大学 文学部 前期合格

①ネガティブになったときは、大学のパンフレットにのっている「キラキラ大学生」を見てワクワクすることでモチベーションを保った。

携帯とは、決意が決まった段階で即刻別れるべき。今すぐ別れてください。

「まだ〇〇日」は「もう〇〇日」。100日なんてすぐ過ぎてしまう。

自分の記憶に残りやすい覚え方を見つけると良い。私は、自分が視覚優位だと思ったので、積極的に資料集を見たり、色の使い方に気をつけたり、表を作ったりした。

②家族が真剣に考えて話し合ってくれたので、自分がなぜその大学に行きたいのか、何をしたいのか、よく考えて決めることができた。

③2年生の夏にオープンキャンパスに行って、ここなら思う存分研究ができそう！と思って第一志望の大学は決定した。

④3年生の夏まで活動していた。体調管理を第一に考え、家庭学習は無理をしなかったが、その代わりに授業をきっちり受けた。

⑤【日本史】

授業プリントに、人物や制度にちなんだ絵やキーワードを書き込んだことで、後から見たときに内容を思い出しやすかった。

【世界史】

縦の歴史（1つの国）と横の歴史（他国との関係）、そして地図、この3つが学習の軸になる。人物・事柄を単語として覚えるのではなく、いろいろな人の思惑が働いている物語として覚えると良い。地名が出てきたら、必ず地図で確認する。

広島大学 医学部 保健看護学科 前期合格

①睡眠時間は7時間確保していたが、その分、勉強するときは集中した。

3年生の4月からSNS断ちをし、7月からは、朝7時に学校に来て勉強した。

模擬試験では、友達と競い合った。

②舟入生はほとんどの人が国公立大学を目指して2月末まで頑張っているのだから、自分も自然に頑張れた。AOや推薦入試で早期に進路が決定した人も、一緒に勉強を続けてくれたので、精神面でとても助かった。

③第一志望は1年生の時から変わらなかった。ブレることなく志望を保ち続けられたことは良かった。

⑤志望校の「赤本」10年分を2周した。

<<理系>>

広島大学 医学部 医学科 前期合格

- ①悪かった点は問題集をやり込めなかったこと。入試本番でも、見たことのある問題が出たけど解法を思い出せなかった。また、やりこめば自信にもつながると思う。良かった点は友達と勉強したこと。さぼりがちな私にとって友達と一緒にやることは効果的だった。また、質問されたときは自分にとって理解が深められる良い機会になるし、逆に分からない所を質問できるところが良かった。受験期は大変なことだらけだと思いますが、適度に息抜きしながら頑張ってください。手遅れだとかいうことはないので、課題と授業は真面目にすることをおすすめします。応援しています！
- ②友達や先生、両親の支えが本当に大きかった。私はすぐさぼってしまうので、一緒に勉強してくれる友達がいなかったら1年間頑張れなかったと思う。また、周囲の人が背中を押してくれたから医学部を受験しようと決断できた。本当に感謝でいっぱいです。
- ③薬学部を志望していたが、どうしても医師になりたくて3年生の11月に決断した。基礎的な問題を確実にとれるように主に基礎を固めた。
- ④バドミントン部でとても忙しかったので両立はあまりできなかった。でもテスト前と授業中は集中するように心掛けた。部活が忙しくても全く時間がないわけではなかったなので、スマホを控えて勉強時間を確保すべきだったと思う。
- ⑤【数学】
苦手だったのでチョイスをやった。なるべく数学に触れない日がないように心掛けた。

九州大学 工学部 物質科学工学科 前期合格

- ①・自分は1年生の時から最低限の基礎固めは行ってきたので、受験勉強にはスムーズに移行できたと思う。
 - ・とにかくやりきることが大事だと思う。参考書などいろいろなものがありますが、結局は自分がどのように取り組むかにかかっていると思います。
 - ・集中できないときは場所を変えるなどすると思います。
- ②・両親は、勉強についてはまったく口を出さずに自分のペースで自由に取り組ませてくれました。感謝しかありません。
- ③・高3の夏に決定しました。計画はあまり詰めすぎず、1か月で何を達成するかということイメージして取り組んでいた。
- ④野球部
 - ・とにかく規則正しい生活を心がけていれば、部活と勉強の両立は普通にできます。
 - ・勉強時時間がとれないという人は、朝学校にきて1時間やるだけでもだいぶ変わります。

・眠くなったら5分伏せるだけでも違います。

⑤【英語】

・英語が苦手な人はそもそもの単語力が足りていないと思います。自分は1年生のころから通学時にアプリのTGをするようにしていたので広く浅く覚えるという作業を積み重ねました。一度長期記憶にすれば、そう忘れるものでもないです。実際、2年からはTGの本はあまり使わなかったです。授業での単語テストをきっちりこなして、復習を繰り返してみてください。

広島大学 工学部 第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系) 前期合格

①やる気の出ないときに、やる気の出し方を検索してみたり YouTube を開いてみたりしたけれど、今思うと、何も考えず机に向かってみるのが一番だったと思う。あと、過去問を解くのに早すぎるとかはないと思った。受験勉強を始める前に、センター試験と二次試験の配点や過去問の内容、何割くらいとればいかに把握してから始めると、やみくもに勉強するのでは全然違うと思う。絶対、早めに入試制度・過去問を見ておくべき！

②学校で勉強すると周りの友達が集中していて自分も集中できるし、友達や先生にすぐ質問できるし、ご飯を友達と食べると息抜きになるしいいことがたくさんあった。

③センター後に決めた。最初は別の大学を目指していたけど、広大にした。そうは言っても広大の二次試験の配点は高かったんで、センター試験後はひたすら広大の赤本を解いた。早い時期に二次の過去問に慣れておいて、センター後も志望を貫くのが一番理想的だと思う。

④自分は軽音楽部でライブや行事の前は忙しかったけど、それ以外の時は結構時間があつたので、もっと時間を有効に使えたのではと思う。3年生になってからより、1・2年生のときにどれだけ勉強できたかで差がつくと思う。

⑤【英語】

文法で分からないことがあつたとき、デュアルスコープを開いたら大抵のことは書いてあつたので役に立った。広大は要約と英作文の問題が特徴的なので、週末課題などを写さずやっていたら役にたつと思う。

広島大学 工学部 第四類(建設・環境系) 前期合格

①将来やりたいことだけはぶれなかったんで、志望学部はずっと変わらず、志望校選びでも助かった。やりたいことが決まっていたので、最後まで頑張りきれたと思う。

モチベーションを保つのに一番大きかったのは、一緒に勉強したり模試やテストで勝負したりしてくれる友達の存在だった。そのおかげで毎回の模試が楽しかったし、受験も思っていたより辛くなく、むしろ楽しい部分も大きかった。また、同じような悩みをもっていて、話も聞いてくれた。受験生関連の動画を見るのもやる気がでた。

大切なことは、計画を立てることだと思う。私は計画を立てるのがとても苦手だったので、いつも短

期間の計画を立てては崩れての繰り返しでした。計画を立てないと勉強をしても不安で集中できないので、初めは絶対こなせる量で進め、やりながら続けられる量で計画を立てるなど、工夫しながら計画を立てた。また、計画が崩れたら何が原因だったのか見直した。何をすればいいのかわからなくなっても、とりあえず何かは勉強して、勉強することをやめなかったところはよく頑張ったと思う。

②担任の先生と親は、進路を決めるときにたくさん相談にのってもらった。私は決断をするのがとても苦手で、いつまでも悩んでいたが、特に母にはいつまでも相談にのってもらった。

③夏の時期に2つに絞り、11月くらいに志望校を決定した(夏で決めれていたらよかった)。センター試験で予定の点数がとれなかった時のために、第二志望校の赤本も1回解いておくといいと思う。夏に赤本を1回解いてみて、どのような対策をするのか考えてから問題集の取り組みを考えるのがよい。

④ソフトテニス部

バス通学の間は暗記物に取り組んだ。家に帰ったら疲れがたまっているので、ご飯を食べてお風呂に入ってリセットしてから2時間くらい勉強した。朝は友人のいる学校で勉強した。休日はやることを書き出して取組み、終わったら好きなことをした。

⑤【物理】

テスト週間は該当範囲(「リードα」、「エッセンス」、できれば「良問の風」も)を2周はして、間違えたところはスラスラ解けるまでやり込む。1周目は答えを理解しながらでもよい。その後何周も解いていけば、当たり前のように手が動くようになる。物理は典型的な問題が多いので、解けば解くほど力が付く。「漆原の参考書」はおススメ。

【化学】

無機分野は「福問の参考書」をボロボロになるくらい使い込んだ。無機分野は対策が手薄になりがちなので、理論分野や有機分野と並行して少しずつ取り組んだ。理論分野はとにかく授業をしっかり聞いて、わからないところがあったらその都度先生に質問しに行く。有機分野は「鎌田の別冊」を使いながら数をこなすことを意識した。

広島大学 教育学部 第一類初等教員養成学科 前期合格

①・センター試験で成功・失敗するかで志望校を変えることになってしまうから、志望校を落としてモチベーションが下がらないようにセンター試験を頑張った方がいい。

・自分はだらけたりして他の人より勉強時間が少ないと思うけどそれでもなんとかなったのは、1、2年生のとき授業で絶対寝ずにその時間中に理解して苦手を作らなかったからだと思う。3年で楽しみたいなら日頃の授業をおろそかにしてはいけないことがよくわかった。

・モチベーションは友達と話すこと。ストレスは家でサンドバッグを殴る。学校は3年間で1度も休まなかった。放課後学校で勉強はでかい。

②3年生になってコースで生活するため、クラスメイトとの関わりが極端に減るから、自分たちのクラスはずっとみんなで昼食をとっていた。気分転換になっていたのも、その時間が本当に大切だった。自分は塾に行っていなかったため、放課後教室に残っているメンツで声をかけ合いながら頑張った。

受験期だからこそ、人との関わりが大切。

③私は中1で小学校教諭になることを決めて、それで教育が強い広大に行くためにそこへの進学率が高い舟入高校に入学した。センター試験が終わるまでは広大の赤本1年分と外部模試くらいしかしなかった。センター試験を頑張る→赤本を解きまくる。

④バレーボール部に入っていて、高校から始めたためしんどくて辛いこともたくさんあったけど、忙しいからこそ勉強がしたくてたまらなかったから、朝4時に起きて夜10時に寝る生活リズムを作って頑張った。部活はどんなに辛くても絶対最後までやるべき！受験期に「あのきつかった頃と比べれば」と思って頑張れる。

⑤【物理】

得意教科だったため全体的にあまり時間はかけなかったけど。何回もある中テストは100点を目指して範囲を全部解けるまで毎回5周はしていた。受験期で苦手分野はエッセンスを何度も解いた。良問の風は中テストのときにかなり使った。

【地理】

範囲がえげつなく広いけどむちゃくちゃ楽しい。「村瀬のゼロからわかる地理B 系統地理・地誌」にお世話になった。地理はとにかく演習しかない！模試で点が悪くても急に伸びる！演習後にきちんと模試直しノートを作る。全教科で断トツに時間をかけたけど、模試直しでは分かるものは飛ばして分からなかったものだけ直していかないと時間が足りなかった。

神戸市看護大学看護学部看護学科 前期合格

- ①・土日、学校で勉強することでクラスのみennaと励ましあいながら受験勉強できたので、教室で自習をするのがいいと思う。
- ・国語と英語に関しては、短期間で学力を伸ばすことは厳しいので、早い段階で苦手を克服できていたのが良かった。
 - ・1日中ずっと勉強！という感じではなく、「今日はテレビも見たいから、いつもより早く起きて勉強しよう」というように計画を立てて自分のやりたいこともすればいいと思う。
 - ・1年生の時からコツコツ勉強し、考查ごとにその分野を定着させるべきだった。
 - ・国数英の3教科はセンター試験での配点が200点なので、それらが苦手だと厳しい。
- ②・塾に行くのはいいと思うが、自分自身にやる気がなくてただ行かされているだけになっているのなら意味はないと思う。
- ・先生に進路のことや勉強方法について相談することで、そこまでストレスを溜めるがなかった。
 - ・家族が自分の進路を否定せず、見守ってくれていたのはありがたかった。
- ③・第一志望の候補校が定まっていないときは、とりあえず偏差値の高い方を第一志望としていた。
- ・早い段階で第一志望校を固めるほうが良い。(最後まで迷った結果、数Ⅲが結局いらないうことになった。)

- ④・バスケットボール部
- ・通学時間を有効活用する。
 - ・夜は疲れてすぐに寝てしまうので、日々の授業を大切にすることと、朝の時間を活用して自習に取り組むこと。また、考査週間を大切にする。

⑤【地理】

参考書：地理 B の点数がおもしろいほどとれる本

知識を頭に入れるために読んでいた。センター試験向けではあるが、知識を増やしたいときはこれからの入試形態でも役に立つと思う。

参考書：地図帳

どんどん情報を書き込むのが良いと思う。

【英語】

参考書：基礎英文問題精構

毎日見開き 1 ページずつ、文構造を取りながら全訳した。文構造を意識することで英文がスラスラ読めるようになった。

県立広島大学 地域創生学部 健康科学コース 前期合格

- ①・塾のある日は、学校の授業がなくても休まずに行って自習をした。
- ・受験生になってから、夏休みに教科書を隅々まで読んで熟読した。理系科目に関して、どのような仕組みで現象が起きているのかが理解しやすくなった。
 - ・「これは絶対にしない」と決めつけないことでモチベーションがコントロールできた。
- ②・何回も繰り返すことが大切だとは思いますが、一回で覚えようとする気持ちが薄れやすくなりがちになったとは思った。
- ・担任との面談を通して、自分のことをちゃんと見てくれているのだとよく分かり、安心した。
- ③・受験エリアや将来なりたい職業等を踏まえ、高 2 の冬に決定した。
- ・反省点として、県外の大学も頭の片隅にでも選択肢として入れておくべきだった。
- ④・バスケットボール部
- ・午前に部活があるときは午後に眠くなりがちなので、朝は早起きして少しでも課題を進める方がよかった。
 - ・引退して後の 1 週間で受験モードに切り替えた。「ビリギャル」の映画を見てやる気を出した。
- ⑤【化学・生物】
- ・教科書を單元ごとに細かく分けて読み、該当範囲の問題集に取り組んだ。また、間違えた問題を中心にもう一度教科書を読んだ。
- 【英語】
- ・二次対策で学校で購入した問題集（長文問題と文中に登場した単語が一覧になっているもの）は、類似問題等もあり、使いやすかった。使い方としては、①長文を解いた後、単語一覧で覚えていな

い単語をチェックする。②同じ長文を再度読む。

京都大学 工学部 物理工学科 前期合格

①とりあえず2年生の年明けまでは、答えを見ずに課題を全部こなして、テスト勉強をちゃんとすれば十分。高校生活を楽しんだ方がよい。2年生の年明けから夏休みくらいまでは単語を覚えるなど基本的なことをひたすらした方がよい。下手に応用的なことをしても意味がないし、部活に全力で取り組んだ方がいい。夏休みに入ったら、重要問題集など少しハイレベルな問題集をする。赤本は1，2年分やればよいと思う。夏休みが終わった後、多分予定していたことが終わって焦ると思うけど、その焦りをエネルギーに変えて頑張る。10～11月は赤本を解き始める。この時期から先生方に添削をお願いした。先生にはできるだけ手伝ってもらった方がいい。12月に入ったら、センター試験の配点が高い人はセンター試験の勉強をする、センター試験の比率が低い人は冬休みに入ってからでいい。センター試験が終われば、二次一色で頑張る。夏休み中盤と秋休みとセンター試験明けに勉強が嫌になる時期がくるけど、そこで踏ん張れるかが重要。

②親や友達の力が本当に大きかった。親が毎日ご飯を作ってくれて、全力でサポートしてくれることが当然だとは思わず、感謝するべき。また、友達と励まし合ったり競争したりすることはモチベーションにもなった。

③春くらいだった気がする。オープンキャンパスには絶対に行った方がいい。たとえ3年の夏でも、合格して行って後悔するくらいなら行った方がいい。

④部活は最後までやめてはいけない。たとえ、やめて大学に受かったとしても、人生で大切な何かを得られないと思う。自分は引退時期がとて遅く、みんなが続々と引退して勉強に取り組んでいる姿を見てとても焦っていた。正直両立はつらかったけど、メリハリはつけた方がいい。

⑤【数学】

チャート、赤本

センターと記述は別の教科と考えた方がいい。記述は添削をお願いする。センター試験は裏技を覚えた人勝ち。

【英語】

Vintage と鉄壁英単語を何周か頑張ってこなす。英作文は先生に添削してもらおう。長文はひたすら読んで分からない単語はノートなどにまとめる。センター前に、二次の長文を読んでおけばセンターが簡単に思えるからおすすめ。

【地理】

ひたすら地図帳に書き込む。あとはニュースを見る。世界ふしぎ発見もおすすめ。

【国語】

古文は単語と助動詞、漢文は句法と慣れ。現代文は慣れ。センター試験過去問をひたすら解くべし。

【理科】

センター試験前には無機化学の単語帳を買った。自分はやめたが、ノートに自分でまとめていくのもいいと思う。

兵庫県立大学 社会情報科学部 前期合格

- ①・志望校を決めること。自分が何をやりたいか、学びたいかを考えるのは大切。
- ・苦手な教科でも勉強することから逃げない。
苦手な教科はとにかくやらなかった分が後から自分に返ってくるしそれが大きな負担にもなる。ちょっとずつでもいいから苦手な教科の勉強をすることで未来の自分は過去の自分に感謝すると思う。
 - ・毎日することを決める。
英単語や古文単語は特に毎日の積み重ねだと思う。忍耐力が必要だと思った。
 - ・勉強のモチベーションは受験後にある楽しいことを考える。
自分の好きなアーティストのライブに行けるとかドラマを見れるとかを考えるだけで少しは勉強のモチベーションが上がる。
 - ・受験直前は友達との会話が大切。
2次試験前のメンタルがやられていた時期は友達と会話することが精神安定剤だった。センター試験当日も友達と話したことで緊張が和らいだ。
- ②3年生の夏頃までは親に広島県内で家から通える範囲と言われていたこともあって広島大学、県立広島大学、広島市立大学しか考えていなかった。でも県外まで視野を広げてみたら自分のやりたいことが見つかったし、結果的に親も県外の大学を受けることに賛成してくれた。大学を受けるうえでいろいろな制限ついてくるかもしれないけど、“やりたい事探し”に行き詰まったら制限を取っ払って考えるのもありだと思う。親は話し合えばわかってくれる。
- ③志望校の候補にいたのは3年生の夏休み位で第1志望校として考え始めたのは秋頃。決断の理由は立地と学べることが自分のレベルに合っていると思ったから。あまり勧めはしないが、第1志望校を受けるのに必要な教科に重点を置いた。
- ④部活動はしていなかったが、していない人は部活をしている人と比べて時間があると思うので、携帯を触る時間にするのではなく学力アップのために使うべきだと思う。実際、自分が携帯ばかり触っていて後悔した。
- ⑤【地理】
- とにかく好きになることに尽きる。中学の社会まででは歴史>公民>地理だったけど、多数派だった地理を選択。2年生の時の教科担任が分かりやすく一瞬で地理が大好きになった。それからは模試の直しをルーズリーフに毎回まとめていた。気候・農業という風にジャンル分けしたほうがよい。模試ごとにまとめるのはお勧めしない。模試の問題で分からないことがあったら答えプラス資料集を見てまとめていた。資料集は全ページ読み、兄弟の持っていた別の資料集も全ページ読んだ。楽しいと苦ではないし、勉強に疲れたら地理で息抜きをしていた。
- 【英語】
- 英語は「ターゲット」をしていればいいと思っている時期があり、実際に覚えてみたがあまり上達はしなかった。そもそも私は中学校の頃から英語は苦手でおろそかにしていたので基礎ができていなかったのかもしれない。そこで毎日「Vintage」やるようにしたら一変した。今までなかった“わかる”という感覚があった。始めは問題の方をやってまちがえたものにチェックをし、2周目にチェック部

分だけやった。3周目はまた全部の問題を解いて4周目以降は右側の所を読んだ。イディオムは最初はしんどいけど慣れれば大丈夫。